

第25回 市政e-モニターアンケート 「総合教育会議について」 最終結果

【テーマ】総合教育会議について

【目的】 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正に伴い、平成27年度から新たに、「総合教育会議」を設置します。

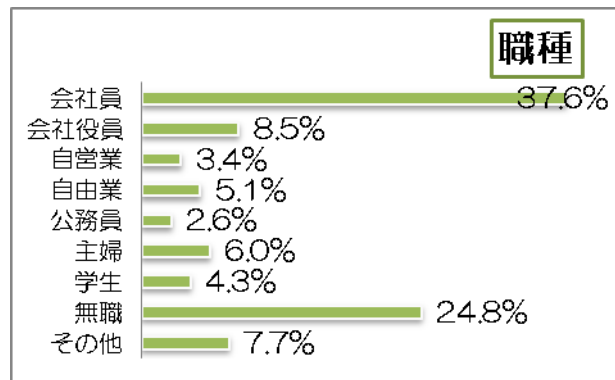
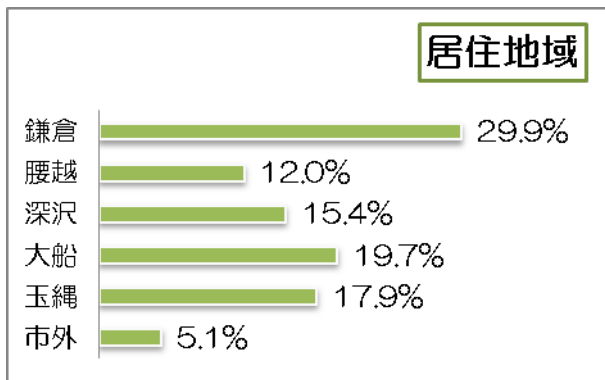
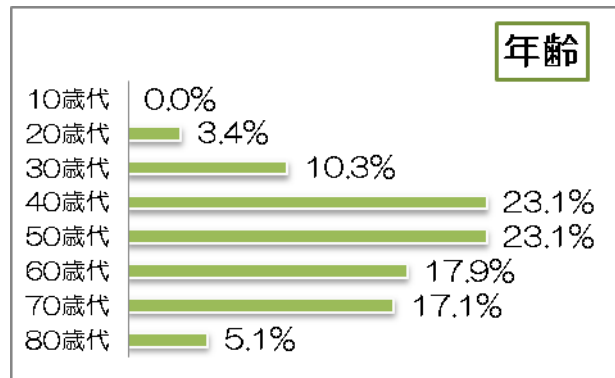
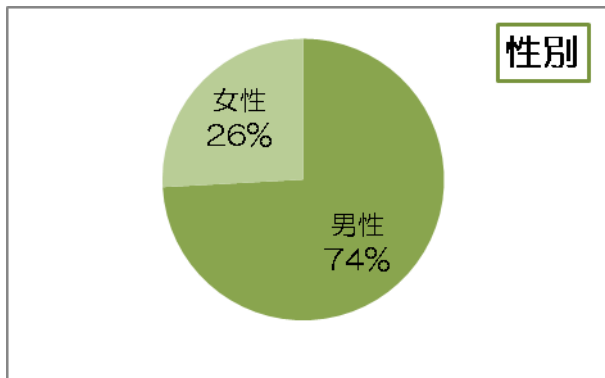
総合教育会議は、市長と教育委員会で構成され、
 (1) 教育行政の指針となる大綱の策定
 (2) 教育の条件整備など重要事項に関する案件
 (3) 児童・生徒の生命・身体 の保護等緊急事態への対応
 などについての協議・調整を行います。

今後、さらに教育内容や環境・子どもの施策の充実を図るため、総合教育会議のあり方などについて、ご意見をお聞かせください。

- ◆ アンケート送信日 : 平成27年5月19日（火）
- ◆ 実施期間 : 平成27年5月19日（火）～平成27年6月2日（火）
- ◆ 送信者数 : 327名（着信者数 323名）
- ◆ 回答者数 : 117名
- ◆ 回答率(対着信者数) : 36.2%（前回より -6.4ポイント）

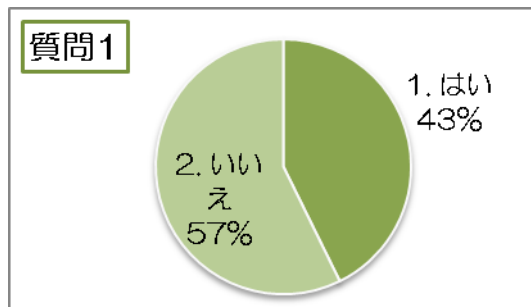


【今回の回答者の基本属性】



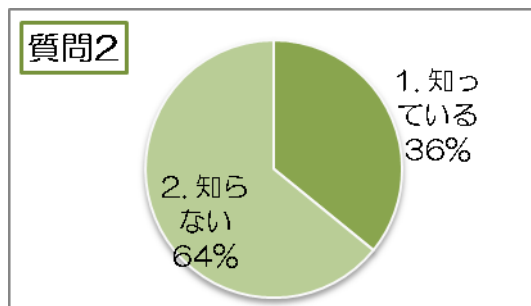
●質問1 広報かまくら4月15日号で教育委員会の制度が変わることをお伝えしましたが、
ご覧いただきましたか？

1. はい	50 名
2. いいえ	67 名

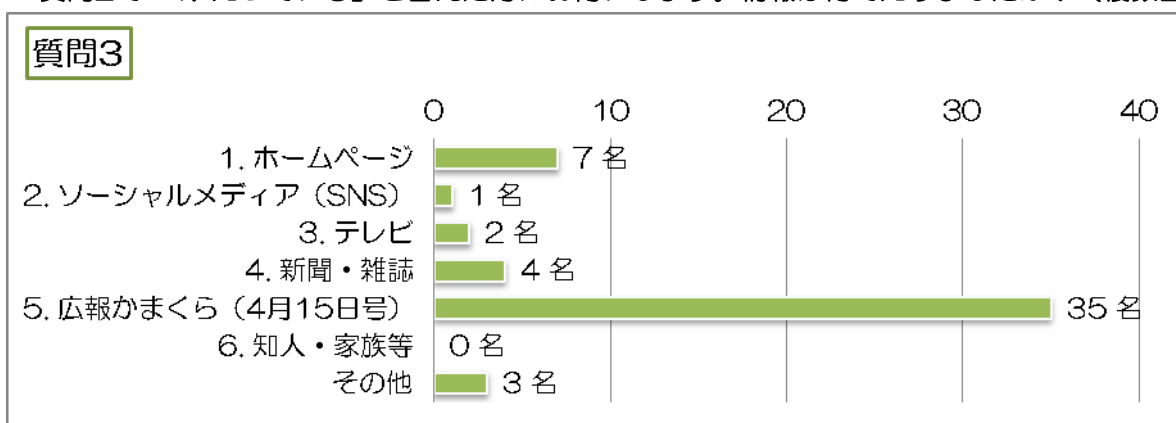


●質問2 本市においても総合教育会議が設置されることをご存じですか？

1. 知っている	42 名
2. 知らない	75 名



●質問3 質問2で「1. 知っている」と答えた方にお伺いします。情報は何で知りましたか？（複数回答可）

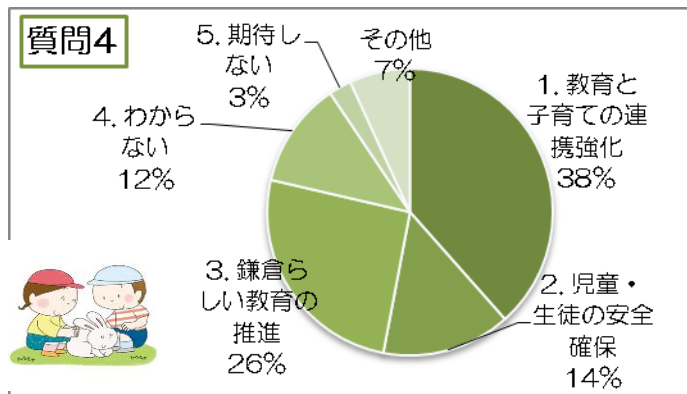


※「その他」の意見

- 別の打ち合わせで情報が来た。
- 平成27年2月「教育・こどもみらい常任委員会」傍聴時。

●質問4 総合教育会議の設置により最も期待することは何ですか？

1. 教育と子育ての連携強化	45 名
2. 児童・生徒の安全確保	17 名
3. 鎌倉らしい教育の推進	30 名
4. わからない	14 名
5. 期待しない	3 名
その他	8 名



※「その他」の意見（同様の意見はまとめています）

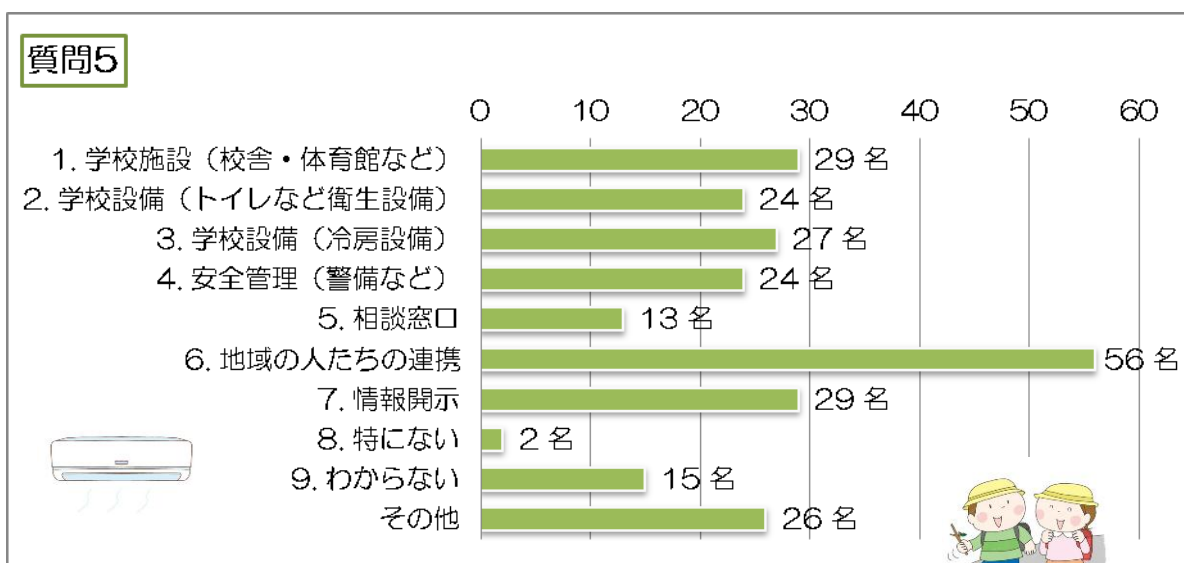
- モンスターペアレントへの対策。
- レベルの高い中学教育。
- 画一的ではない、自由な思想・発想の醸成。
- 未来を担える人材を育成し、学校や家庭を含めた子どもを取り巻くより良い環境の構築。
- 子供の貧困化への対策。
- 市の一般行政と教育行政との整合化、総合的施策の強化。

【経営企画課から】

新たな取り組みにより教育と子育ての連携強化を望む方が多く、より良い方向性を見出すことが期待されていると感じました。会議を通じ、市長と教育委員会が、相互に連携を図りながら、教育行政を推進していくことになると考えています。



●質問5 鎌倉市の小中学校における教育内容や教育環境で課題と感じることは何ですか？
（複数回答可）



※「その他」の意見（同様の意見はまとめています）

- 自然環境教育・福祉教育をより進めて欲しい。
- 授業の進め方は基本的に教科書に沿ったものが望ましい。
- 交通諸課題解消に向け、モビリティマネジメント教育を推進してほしい。
- 個性を伸ばす教育、コンピュータ・プログラミングなど関心のある子への早期教育の提供
- 教育レベルの問題について。
- 教育行政のセクショナリズムによる市行政（福祉関連）との乖離。学校もコミュニティーの一員であるべき。
- 学校の開放・有効活用。開放することで保護者を含めたより多くの大人が子どもたちと交流し見守る体制作り。
- 中学校の給食について、また学校給食に” お米 ”をふんだんに使ってほしい。
- 部活動的な活動は、学校と切り離し、民間と提携した場で行えないか？
- 部活での問題を相談できる窓口がない。
- 学区。第一小学校は御成中学校と第一中学校に別れ、小学校よりも小さい規模となる。
- 少人数学級を推進し、充実した教育・指導が行えるように。20人1学級程度。
- 小中連携など。中学受験が多い現実から何が問題なのかを事前に把握し情報公開してほしい。
- スマホなどの普及にともなう子どものセキュリティ対策。
- 二段階評価はおかしい。
- 専業主婦世帯の学童利用の促進。
- 質問に教育内容と書いてあるのに、項目に触れられてないこと自体が課題。

- 冒険がない。
- 右傾化を感じる。

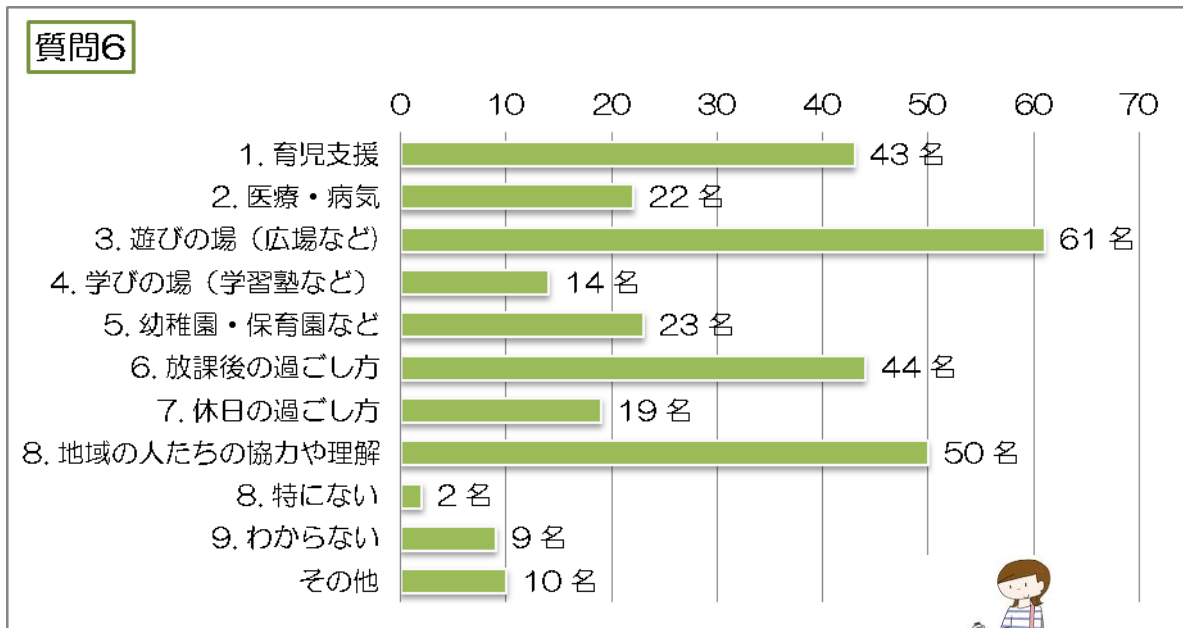


【教育総務課から】

地域の人たちの連携を課題に掲げる方が多く、地域コミュニティの一員として、地域に開かれた学校運営を行い、さらに、家庭、地域、学校、行政が連携して子育てをしていく環境づくりを進めてまいります。

その他いただきましたご意見は、今後の教育施策、学校運営の参考にいたします。

●質問6 鎌倉市の子育て施策や子育て環境で課題と感ずることは何ですか？（複数回答可）



※「その他」の意見（同様の意見はまとめています）

- 病児保育。
- 体育館、プール等の公共スポーツ施設及び図書館の充実。
- 防犯防災訓練（AED等を含む）、着衣水泳の取り組みなど。
- 学童の場所、学童役員の負担。
- 神社、お寺と連携して子どもの遊び場としては拝観料なしで遊ばせてほしい。
- 居場所を作って幼稚園・保育園、学校、家庭以外の場で友だち、地域を通して安全で快適に過ごし、交流し、学べる環境づくり。
- 子育てには地域の人たちの協力や理解が必要であり、将来の日本を背負って立つ若者を大切に、伸び伸びと育てたい。
- 家庭によって、子育て、教育に対する考え方に相当な違いがある。
- 子育て施策や子育て環境に対しての抜本的な発想の転換が必要。鎌倉市職員の企画力の乏しさ。事なかれ主義、議会答弁的いい子ぶり。



【こどもみらい課から】

子育て環境の課題として、遊びの場、地域の人たちの協力や理解についてなどが課題であるとの回答が多くなっています。

子どもにとって魅力的な遊びや学びの場を提供することが、子どもが社会性を身に着けるうえで特に必要であるものと考えます。今後、市として子どもたちがのびのびと遊ぶことを通じて、成長できるような環境を整備することを目指してまいります。



●質問7 今後本市でも、総合教育会議を開催する予定です。総合教育会議の傍聴をしてみたいと思いますか？

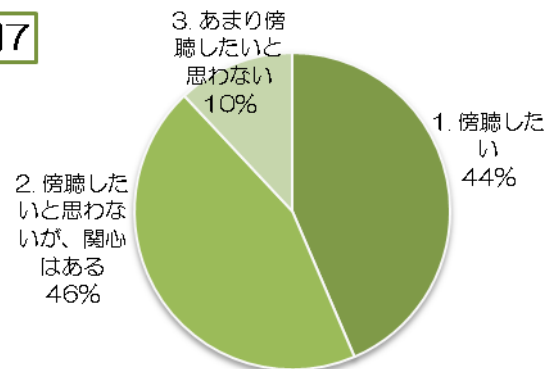
1. 傍聴したい	51 名
2. 傍聴したいと思わないが、関心はある	52 名
3. あまり傍聴したいと思わない	14 名

【経営企画課から】

傍聴したい方が多く関心の高さが伺えます。当日の傍聴は、会場の状況によりますが、可能な限り受け入れたいと考えています。



質問7



●質問8 総合教育会議や教育・子育てに関してご意見があればお聞かせください。（自由記載）

※主な意見をまとめています（順不同）。

総合教育会議の在り方

- 議事録をホームページに即時公開すること。何をやっているかを市民に開示すること。
- 総合教育会議はそれとして、教育問題を話し合う場があったらよい。
- 首長が挙げておられる公約やビジョンを実現していただきたい。結局何も出来ませんでしたでは、役所も議会も首長も全くやる気が無いことを言い続けてきたということになる。
- 鎌倉市は平成 29 年から実施とありますが、試行的に『どのように運営され、具体的に市民がどう教育長とかかわり、教育に関連するのか』を確認するすべを知りたい。現在切り替わることが進行中ということが明確にわかるようアナウンスしてほしい。
- 総合教育会議の基本をきちんと理解して、法に基づいて行って下さい。
- 委員について、特定の考え方の人々が過半数を占めないようにバランスを取って欲しい。
- 会議が、市外部の外注などによって、進められる事は絶対避けて欲しいし。税金が払われる事もさけるべきである。

現状の問題点

- 普通の親の意識を十分把握しているとは言えない現在の教育委員会の体制で、現場を知り、ほかの市町村の様子を知り、子どもを取り巻く環境を考えるグランドデザインができるのか、少し不安を感じる。
- ゆとり教育の後遺症から早期に脱却し（例：土曜日授業の復活）、教育水準の高い街づくり。補習塾への家計支出の節約にもつながる。
- 子育て以前に小児性愛者の犯罪、いじめに対する対応、取締強化が課題。
- 市として子育て・教育に力を入れているという姿勢が感じられません。将来を担う子どもたちにもっと力を入れるべき。

具体的な提案

- 最近は子育てを学校に期待している親が多すぎていると感じている。親の考え方を啓蒙していく必要がある。
- 体力づくりを基本にした子育てを推進していくべき。日常的な取り組みがあってよいのでは。
- 読み書きと計算を、年齢に応じたレベルでしっかり教育をしてほしい。
- 教育委員会は、教育を学校教育中心に考えているが、社会との接点を理解体験させることを考えて。学校の先生も社会を縦横斜めに見れる人は少ない。
- 学校教育が抱える「課題」を広く地域社会と共有化し解決を見いだしていくための「組織」や支えていくための人材の確保が必要。学校からの継続的で具体的な情報の発信が必要。
- 海に囲まれた鎌倉市でも、藤沢市の取り組みのように着衣水泳の時間を設けて下さい。
- かつては、鎌倉には神奈川師範があり、教育の研究機関、付属学校との連携があった。付属小の良いカリキュラムを、応用すると良い。
- こどもがいない家庭とも、地域で連携していくような仕組みを作るといいと思う。学校や児童会館に昔の遊びなどを含め何かを教えに行く人を募集するなど。

鎌倉ならではの教育

- 道徳教育（特に生命に関して）は、重要な課題。地元である鎌倉を理解し好きになる教育を鎌倉独自の教育項目として取り入れてもよいと考えます。
- 鎌倉市長が率先してリーダーシップを発揮して貰いたい。『武家の古都・鎌倉』に相應しい”歴史と伝統文化を大切にして、我が郷土・鎌倉の歴史風土に愛着を持たせる教育”を子供達（児童・生徒）に公教育（小・中学校）現場で具現化しよう。「学習指導要領が定める（我が国の歴史への愛着を深める）」という目標を最も良く実現している教科書を選んで、これで子供達を教育することである。
- 既存の政策の延長ではなく、鎌倉市ならではの全く新しい政策を打ち出してほしい。

子育て環境

- 医療費の公的補助や第三子（等）以降への補助金等、子育てしやすい行政施策。総合的に子育て環境の改善を検討してほしい。
- 近隣自治体を含めての待機児童ゼロの実現。
- 親子さんの育児ノイローゼなど メンタルケアの充実。
- 子供が預けられず、働けないお母さんを減らすべく、保育園の充実をもっと考えるべき。
- 安心して子育てができる環境づくりを積極的に行うことで、ソーシャルネットワークなどを通じ、子育て世代の親たちの鎌倉市に対するイメージが向上し、世帯流入の増加、税収入の安定につながってくると思う。
- 保育園に預けられる日にちが1日からでもいいようなしくみがあれば、良いかな、と思います。
- 鎌倉市は子どもの家や保育園などのように、育児・子育て支援を行う施設に対する財政的サポートが不足していると感じているので、今回の会議を通じて、市民のニーズに十分対応できるようにして頂きたい。

遊び場

- 周辺市町村に比べて大きな公園がなく、お母さんたちが困っている切実な声はすでに届いているかと思います。
- 鎌倉には子供たちの遊びの場が非常に少ないのが見受けられますので、もう少しアスレチック等の遊具が充実した施設を作るべきではないでしょうか？
- TVゲームではなく外で遊べる環境が子供の発想力を高めると思いますので、安全な遊び場も必要です。

その他

- これがあることで市民生活がどうハッピーになるのか、なぜいま必要なのか、ご担当者の言葉で聴きたいと感じました。
- 教育に関して一番重要なのは、教師の質と熱意である。それなくして如何なる会議をしても意味はない。塾に頼らずに学校だけで子供の教育や躾が十分果たされることが理想であり、必要である。
- 一部の地域中学校で生徒の減少が見られるとか
- モラルの低下により・・・と聞くことが多いように思う。子供の時からの教育が大切だと思います。バスなど降りる時、お礼を言わなくなった。学校等で教えなくなったのか。

【経営企画課から】

様々なご意見をいただき、ありがとうございました。今回のアンケート結果を、今後の取り組みを行ううえでの参考とさせていただき、これまで以上に市と教育委員会が連携・協力し、次代を担う子ども達のために、教育環境の充実や子育て支援施策を進めてまいります。



【お問い合わせ先】

鎌倉市 経営企画部 秘書広報課 広報広聴担当

〒248-8686 鎌倉市御成町 18 番 10 号

TEL 0467 (23) 3000 内線 2505

FAX 0467 (23) 6505

e-mail : emoni2505@city.kamakura.kanagawa.jp